



# 自己肯定感の醸成を図る（自他の命を尊重し 活躍の場がある学校）

## しっかり学ぶ子

すすんで考え、自ら学ぼうとする子供・教職員

## 心やさしい子

互いを認め合い、思いやりのある子供・教職員

## たくましい子

心身ともに健康で、粘り強く行動する子供・教職員

### かんがえる

### つよい

### やさしい

### くじけない

- 児童が「わかった・できた・役に立った」を実感できる授業改善を目指します。
- 「他者と協働して学びを深める児童の育成」を研究テーマとした校内研究を継続し、子供が自ら「問い」をもつ個別最適な学び、互いの思いや考えを「共有」できる協働的な学びを目指します。
- すべての授業において、ねらいを明確にした授業、児童自らによる振り返りを意識した授業を徹底します。
- 総合的な学習の時間を軸とした探究的な学びを重視します。またその際に地域人材、地域教材を積極的に取り入れ、体験的な学びを充実させます。
- 特別支援教育の視点で学習環境を整えるとともに、授業のユニバーサルデザイン化の手法として「焦点化」「共有化」「視覚化」を取り入れます。
- 毎週水曜朝にモジュール学習を実施します。国語科における基礎・基本を定着させます。
- 読書活動の推進とともに、学習者用端末と並行した調べ活動の拠点として、学校図書館を活用します。

- 基本的な生活習慣や正しい規範意識を身に付けるために、「五小のきまり」「当たり前のこと10か条」を共通の指導の拠り所とします。特に「あいさつ」「廊下歩行」「時間の管理」を、年間通じたテーマとします。
- 体育授業の充実を軸として、マラソントイム、なわとび週間等に取り組み、運動に親しみ、心身ともにたくましい児童を育みます。
- 防災、防犯、安全への関心を高め、危険を予知し回避する力を身に付けるため、避難訓練や安全教室等を「命を守る授業」として位置付け、主体的に判断できる児童を育てます。
- 学習習慣を身に付けるために、家庭と協力して、「10分間×学年」の家庭学習を推進します。
- 自らの生活リズムを振り返ることができるよう、長期休暇明けに「げんきアップカード」を活用します。
- 感染症対策を継承し、日々の健康観察・手指の洗浄や消毒・三密の回避等を考慮した教育活動を実施していきます。

- 人権尊重の教育を推進し、自他の命が大切にされる風土づくりを目指します。
- 生命尊重・思いやり・規則の尊重を重点とし、考え議論する道徳の授業を軸として、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育みます。
- なかよし学級(異年齢集団)で遊んだり、全校でボランティア清掃をしたりする活動で、リーダーシップ及びフォローアップを心掛けようとする社会性を育みます。
- ハートフルプロジェクトの取り組みを通じて、福祉への理解を深めます。
- 毎週火曜日にロング中休みを位置付け、学級担任と児童とのふれあいの時間を大切にします。
- 特別支援教室拠点校の利点を生かし、子供に寄り添い、声に耳を傾け、努力したことや活躍・成長したことを共に喜びあうことを大切にします。
- 児童の良さを組織的に見取ることができるよう、特に支援夕会・校内支援委員会を通して児童理解や指導法の共通理解に努めます。

- 児童が目標をもち、その実現に向けて挑戦しようとする態度を育むことができるように、多様な活躍の場の中から自己肯定感を醸成させます。
- 特別活動を軸として、学校の課題を児童自らが主体的に解決しようとする取り組みを推進します。特に話し合い活動を通じて、合意形成や意思決定の機会を大切にしていきます。
- 全ての児童が豊かな学校生活を送れるよう、ふれあい月間等を活用し「いじめは絶対に許さない」という姿勢を全教職員で示し、未然防止、早期発見、早期対応に努めます。
- 学年経営を主軸とし、複数の目で児童を育てることを重視します。学年内の道徳の交換授業や、一部教科担任制等も取り入れます。
- ミドルリーダー層を中心としたOJT校内研修会に取り組み、教員個々のスキルアップを目指します。
- 悩みを一人で抱え込むことなく、チーム五小という組織や関係機関との連携で解決することを大切にします。

